

業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2026.1.19

No. 749

2026年春実施ダイヤ改正

に関する交渉を実施

「共通」

- 今ダイヤ改正での增收見込みを明らかにされたい。

回答・収支効果として、運輸収入はトータルで 19.8 億円を見込んでいる。

組合・達成出来るよう堅実な営業活動をお願いしたい。私達は安全安定輸送に努めていく。

- 今ダイヤ改正での経費について明らかにされたい。

回答・改正による経費は約 4.5 億円を見込んでいる

組合・営業収益が増えていても、それと比例して営業費用が増えなければ収益は伸びない。無駄な経費を抑える取り組みを強化されたい。

会社・安全を担保した上で、効率化を進めていく。

- 今ダイヤ改正における基準人員及びグループ会社基準人員と現在員を明らかにし、人員不足の場合における対応を明らかにされたい。

回答・2026 年度初における鉄道事業部門の基準人員は 4074 人となる見込みであり、現在員は、シニア社員（コース B : 0.9 人工換算）を含め約 4456 人となる見込みである。基準人員を整えるのは会社の責任であり、引き続き必要な対策を行っていく。グループ会社の基準人員及び現在員は、グループ会社の責任範疇となる。

組合・要員不足が顕著な職場もあり、安全安定輸送のためにも対策強化をお願いしたい。

会社・引き続き、採用に力を入れシニア社員の懲役も行なっていく。

- 災害や大規模な輸送障害に伴う、BCP 対策の進捗状況と計画を明らかにされたい。

回答・主要幹線が長期にわたり不通となり、鉄道ネットワークが寸断された場合には、①迂回運転の実施、②不通区間を挟んだ折り返し運転の実施、③トラックや船舶を活用した代替輸送力の確保、④顧客・利用運送事業者への的確かつ迅速な情報提供が重要である。引き続き、社内を含めた危機管理体制の向上に努めていく。

組合・良い商品を提供しても、荷主からの信用信頼が無ければ経営は成り立たない。きめ細やかな取り組みをお願いしたい。

会社・引き続き、危機管理体制の向上に努めていく。

5. 脱線事故が続いている、再発防止を含めた安全対策を明らかにされたい。

回答・全国の対策としては、入換作業前打合せについて、操車・信号間含む関係者間で実施させ、ヒューマンエラーを気づく仕組み作りを行う。

組合・2024年7月、新山口駅構内で発生した脱線事故を皮切りに、2025年末までの約1年半の間に8件の脱線事故が起きており、信用信頼回復のためにも再発防止に努められたい。

会社・全体の仕組みづくりと合わせて、事象毎の対策もしっかりと行っていく。

6. 列車遅延時等、連続作業を強いることのない、安全最優先の企業風土を確立されたい。

回答・作業指示は体調等を考慮して安全最優先で行う。

組合・日頃から、大幅な列車遅延が度々起きており、躊躇なく作業中断を指示出来る職場風土を構築されたい。

会社・必要な場合は、躊躇なく作業を止めてもらいたい。

7. 新たな顧客やニーズの着実な取り込みを図る上での具体的な対策を明らかにされたい。

回答・今回のダイヤ改正では積載率が高く、お客様からご要望の多い区間を中心に輸送力を増強する一方、積載率の伸び悩んでいる幹線系列車やフィーダー列車の列車体系を見直す。

組合・荷物が増えなければ収入は増えない。次8項と被ってしまうが、思い切った改革をお願いしたい。

会社・引き続き、顧客のニーズをとらえていく。

8. 収益性の低い列車は大幅に見直し、将来を見据えた大胆な改革を図られたい。

回答・積載率のふるわない列車については効率化を図り輸送機材を生み出す。

組合・前7項でも話したが、大胆な改革をお願いしたい。

会社・必要な効率化は進めていく。

9. 女性社員の現場配属が増えており、ストレスを感じさせない働きやすい環境整備を早急に図られたい。(休憩室・更衣室・洗面台・寝室・トイレ等)

回答・女性社員の従事する職場の環境改善については、実態を把握した上で適宜を行っていく。

組合・現場で働く女性社員が増えており、離職防止・人材確保のためにも、早急に進められたい。

会社・優先順位を決めて進めていく。

10. 業務体制見直しにより、要員見直し・職場廃止等があれば明らかにされたい。

回答・要員見直し等については各支社にて別途提示する。

組合・了解した。

11. 今ダイヤ改正を確実に履行できるよう、各現業機関からの改善要望等を聞き入れ、職場改善等を確実に行われたい。

回答・必要な設備投資は行う。

組合・確実に履行するためにも、職場環境改善を速やかに進められたい。

会社・優先順位を決めて進めていく。

12. 非現業ではフレックス制度が導入されており、現場においてもフレックス制度を早期に導入出来るよう計画を進められたい。

回答・現業機関に拡大しない考えはない。具体策については勉強中である

組合・現時点で、進捗状況を話せる中身はあるか。

会社・勉強中であり、現時点で話せる内容はない。

13. シニア社員の労働条件緩和を明確化されたい。

回答・雇用契約書による。

組合・人口減少が進む中で、シニア社員の働き方が重要になる。シニア社員の気持ちになって、働きやすい環境整備を整えて頂きたい。

会社・雇用契約書によるものとしたい。

14. 熱中症対策のため、通気性の良い制服を配備されたい。

回答・今年度、一部の職種においてポロシャツの試使用を実施した。

組合・ポロシャツだが、来年度は、どの職種まで拡大する予定なのか。

会社・現時点では、「試使用の意見の集計中である」までしか言えない。

組合・何か決まり次第、教えて頂きたい。

会社・了解した。

15. 熱中症対策のため、通気性の良いヘルメット・安全チョッキ・安全靴を配備されたい。

回答・必要な熱中症対策は行う。

組合・熱吸収を考慮し、白色の安全靴を取り入れた業種もある。JR産業では、熱中症での死亡労災も起きており、今から対策強化をお願いしたい。

会社・安全は最優先であり、引き続き取り組んでいく。

16. 熱中症対策のため、各現場から要望を聞き、空調服を配備されたい。

回答・必要により配備している。

組合・昨夏は、日本中の多くの業種から空調服注文が入り、空調服が足りない事態に陥ったと聞いた。

今夏でも同じような事態になりかねないこともあります、今から準備を進めて頂きたい。

会社・了解した。

17. コンテナ料金を運賃改定したが、コンテナ留置料やトラック駐車料等、他の料金についても改定を検討しているのか明らかにされたい。

回答・現時点、その考えはない。

組合・物価高であり、検討を進めるべきであると思うが。

会社・繰り返しになるが、現時点、その考えはない。

組合・JR貨物グループ全体の収益が落ち込んでおり、料金改定を進めるべきと助言する。

会社・意見として伺っておく。

18. 新人教育を考慮した上で、フォークリフトを新製されたい。（補助席設置等）

回答・12ft用フォークリフトは、補助席設置可能機種については新製時に設置している。

組合・メーカーとの調整もあるが、現場の意見を聞いて、対応をお願いしたい。

会社・了解した。

19. フォークリフトオペレータ要員不足・作業負担軽減の対策を具体的に説明されたい。

回答・フォークリフトの要員需給の逼迫による負担が改善するよう、グループ会社と連携し採用活用に取組んでいる。

組合・良い商品を作っても、フォークオペレーターがいなければ商品を提供出来ない。以前より、要員不足問題は全く改善しておらず、真剣な取り組みをお願いしたい。

会社・引き続き、グループ会社と連携を進めていく。

20. 職場環境改善のため、老朽化した建屋等の建て替えを進められたい。

回答・設備投資等、全体計画の中で検討する。

組合・JRとなり、2027年で40年経過するが、老朽化した建屋が多く存在しており、予算的に厳しい部分もあるが、耐震性・働きやすい環境整備・人材確保の観点から、建て替えを早急に進めて頂きたい。

会社・優先順位を決めて進めていく。

21. 安全安定輸送を担保した上でコスト削減を図られたい。

回答・安全の確立は鉄道事業者としての使命であり、安全の確立の上で安定輸送の確保に努める。

組合・脱線事故が続いている、信頼回復・安全確立に向け真摯に取り組んで頂きたい。

会社・安全安定輸送の確保に努めていく。

22. 各支社別及び系統別の要員効率化について明らかにされたい。

回答・要員効率化については各支社にて別途提示する。

組合・了解した。

23. 支社提案のスケジュールについて明らかにされたい。

回答・提示資料等、準備ができ次第、提案を行なう。

組合・了解した。

「運転関係」

1. 要員需給について、要員不足生じないよう計画的に養成されたい。

回答・入所試験に向けた勉強会等の支援に取り組み、新規運転士養成の入所者数を確保し、必要な要員の確保に努めていく。

組合・養成途中離脱や離職等で、会社の計画通りに進んでいないことも理解できるが、要員不足が顕著な職場もあり、安全安定輸送のためにも努めて頂きたい。

会社・必要な要員確保に努めていく。

2. 乗務員の負担軽減・お客様に良い商品を提供するため、新形式機関車の置き換え促進・電磁ブレーキ列車増を図るとともに、女性乗務員が増えていることから、機械室に簡易的なトイレを設置したい。

回答・必要な設備投資は行う。

組合・女性社員の立場となって物事を考え、女性からの意見を積極的に取り入れ真摯に進めて頂きたい。

会社・必要な設備投資は行っていく。

3. 輸送障害を減らすため、鳥獣対策強化を図られたい。

回答・引き続き、自治体等への要請を行う。

組合・輸送障害による列車遅延が度々起きている。100%の解決は難しいが、少しでも減らすための取り組みをお願いしたい。

会社・引き続き、要請を行っていく。

組合・熊対策では、乗務員の安全を最優先にした指導をお願いしたい。

会社・安全は最優先であり、安全を担保したうえでの対策を進めていく。

4. 目への負担軽減のため、サングラス使用を通達により正式に認められたい。

回答・導入に向けて試験を実施している。

組合・導入はいつ頃になりそうか。

会社・現在、試験を行っている最中である。

組合・各旅客会社では既に導入しており、目への負担軽減のため早急に導入されたい。

会社・試験結果を見て判断していく。

5. 肩や腰などの負担軽減のため、持ち歩く資料を減らし、乗務カバンを軽くされたい。

(タブレット端末活用)

回答・一部規程類についてはITインフラ機器での携帯としている。

組合・タブレット端末が、古い・遅い・重いという声が多くある。新しい端末導入の予定はあるのか。
会社・現時点、明らかにできるものはない。

6. 熱中症対策のため、空調設備が壊れている機関車は運用から外されたい。

回答・修繕が必要な場合は運用変更するなど早期修繕を実施するよう手配している。

組合・空調設備が壊れたまま運用している機関車もあり、熱中症や体調不良等、重大事象・重大労災を招く前に対応をお願いしたい。

会社・必要な対応は行っていく。

組合・長時間抑止が多々あり、現場で働く身になって対応をお願いしたい。

会社・了解した。

「駅関係」

1. 手ブレーキ検知装置について、手動登録を行わないシステムを構築し、自動更新時間の更なる短縮を進められたい。

回答・可能な改修は実施する。

組合・手動登録を行わないシステムは、いずれ改修出来るのか。

会社・現時点、未定である。

2. 一部の駅にコンテナが滞留することで、「荷物があるのに運べない」という実態が起きない輸送体系を確立されたい。また、駅のキャパシティ拡大、コンテナ置き場の整備について具体的な計画があれば明らかにされたい。

回答・コンテナ留置レイアウトの見直しにより駅のキャパシティ拡大を図る。

現時点では、具体的な計画は未定だが、来年度以降の計画について検討中である。

組合・来年度以降の計画で、話せる中身があれば教えてほしい

会社・現時点で話せる中身はない。

組合・昨年の交渉で、「コンテナ3段積みは安全上の問題から、現時点、考えていない」と発言したが、現時点での考えを教えて頂きたい。

会社・考えについては、昨年と変わりはない。

組合・駅によっては、何年間も使用していないコンテナが留置してある現状もある。無駄なコンテナが留置されてないか全国規模で精査し、限りある構内を無駄なく使用出来るよう進められたい。

会社・了解した。

3. IT-FRENSについて、今後刷新する計画はあるのか明らかにされたい

回答・現時点、明らかにするのは困難である。

組合・何か決まり次第教えて頂きたい。

会社・了解した。

4. 運転支援システムへの列車編成通知書自動表示を早急に進められたい。

回答・編成通知書が機関車モニターに表示されるようシステム改修を進めている。

組合・いつ頃、出来そうなのか。

会社・改修の目途が見えれば、前広な情報提供を行っていく。

5. 交検余裕日数の短縮を図られたい。

回答・コンテナ車の交検抜き取り計画については、コンテナ車運用と駅作業・交検発生想定を精緻に検証したうえで、抜き取り駅を指定しており、今後も交検実施時期までの必要日数の短縮に向けて引き続き追及していく。

組合・抜き取り時期まで、まだ余裕があるのに抜き取られることで、混乱が生じるケースがある。日数を短縮することで、この問題は解消に近づくため、議論をお願いしたい。

会社・交検車両の平準化との兼ね合いもあるが、引き続き追及していく。

6. コンテナ荷役作業・コンテナ積付検査・入換作業において、基本動作を厳守できる作業時間が確保されているか確認し、確保されていない場合は要員・作業ダイヤを見直されたい。

回答・安全を最優先し、必要な時間を確保した上で作業ダイヤを作成している。

組合・具体的な作業ダイヤは支社との交渉となるが、安全確保の観点からも真摯な対応をお願いしたい。

会社・了解した。

7. リフトオペレーターの連続作業時間を4時間以内とされたい（列車遅延時も含む）

回答・安全を最優先し、必要な時間を確保した上で作業ダイヤを作成している。

組合・列車遅延時等、長時間労働を強いられているのが現状であり、「作業を止めて休憩時間を確保する」ことが、当たり前のように出来る職場風土を構築されたい。

会社・遅延時の作業指示はグループ会社内のことであるが、体調不良時等は躊躇することなく、申告してもらいたい。

8. 駅作業員による連続作業時間を3時間以内とされたい（列車遅延時も含む）

回答・安全を最優先し、必要な時間を確保した上で作業ダイヤを作成している。

組合・列車遅延時等、長時間労働を強いられているのが現状であり、「作業を止めて休憩時間を確保する」ことが、当たり前のように出来る職場風土を構築されたい。

会社・必要な場合は、躊躇なく作業を止めてもらいたい。

【検修関係】

1. コンテナ車長期運用離脱車（全検抑制など）の計画を明らかにされたい。

回答・長期の使用休止車両については、2028年度での検査を計画するが、今後のダイヤ改正の動向に応じて対応する

組合・何か決まり次第教えて頂きたい。

会社・了解した。

2. C-COMASの検査配分が適正なものになっているのか明らかにされたい。

回答・適正に設定している。

組合・現場での意見を聞き、混乱が生じないシステムを構築されたい。

会社・全体を見て設定をしている。

3. DF200形式の後継機について進捗状況を明らかにされたい。

回答・未定である。

組合・何か決まり次第教えて頂きたい。

会社・了解した。

4. 新型コンテナ車の開発について進捗状況を明らかにされたい。

回答・未定である。

組合・何か決まり次第教えて頂きたい。

会社・了解した。
